

クリニカルインディケータ－【臨床指標】

1 病院全体の指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
延べ入院・外来患者数 平均在院日数 病床利用率（運用病床）	86,451 人	86,684 人	79,884 人	延べ入院患者数：退院患者数＋当日末在院患者数
	111,825 人	115,699 人	110,869 人	延べ外来患者数：初診患者数＋再診患者数
	10.0 日	10.3 日	9.6 日	平均在院日数：延在院患者数÷（新入院患者数＋退院患者数）÷2 ※亜急性期病床、地域包括ケア病棟を除く
	（一般） 79.0 %	（一般） 79.2 %	（一般） 73.0 %	病床利用率：延入院患者数÷延運用病床数 ×100 （医療法上の区分）
	（精神） - %	（精神） - %	（精神） - %	
	（感染） - %	（感染） - %	（感染） - %	
剖検率	9.7 %	6.9 %	6.2 %	年間剖検数÷年間患者死亡数
CPC（臨床病理検討会） 実施件数	5.0 回	5.0 回	5.0 回	年度内の開催実績数
クリニカルパス実施状況	61.3 %	64.6 %	65.1 %	実施率：パス適用件数÷新入院患者数
疾病別患者数及び 平均在院日数 （大久保独自指標継続）	「別紙2」参照			ICD10の大分類に基づいた疾病別の件数等
2 手術に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
手術の実績	「別紙3」参照			年間の診療科別手術実績
内視鏡検査件数 主な処置件数	① 2,973 (1) 1,610 (2) 53 (3) 27 (4) 1,283 ② 801 件	① 2,770 (1) 1,542 (2) 46 (3) 22 (4) 1,160 ② 667 件	① 2,513 (1) 1,359 (2) 60 (3) 36 (4) 1,058 ② 898 件	①検査数（(1)上部内視鏡、(2)膵臓・胆管系、(3)気管支鏡、(4)下部内視鏡）、②治療数
3 がん医療に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
がん登録統計	「別紙4」参照			「院内がん登録」による登録件数及び東京都がん診療連携協力病院における部位別（肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がん、前立腺がん）の登録数、ステージ別件数及び治療方法別件数
外来化学療法件数	223 件	258 件	334 件	外来で化学療法を実施した件数(外来化学療法加算)
放射線治療件数、症例数	件数 1,773 件 症例数 100 件	件数 1,546 件 症例数 92 件	件数 1,439 件 症例数 71 件	放射線治療件数、症例数 高エネルギーX線装置による通常の照射とIMRTの1回目の放射線管理料を取得した数、及び定位の患者数。（小線源治療は除く）
4 救急医療の指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
救急患者数（1日あたり）	36.3 人	34.5 人	34.2 人	(救急入院患者数＋救急外来患者数)÷年間営業日数
救急搬送受入件数	3,228 人	2,788 人	2,867 人	救急患者のうち、来院方法が「救急車」の患者数

クリニカルインディケータ－【臨床指標】

5 放射線及び検査に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
緊急対応可能検査項目数及び緊急対応可能検査項目数の割合	検体 76 個 87.3 % 生理 43 個 93.5 %	検体 76 個 87.3 % 生理 43 個 93.5 %	検体 80 個 80.0 % 生理 51 個 89.5 %	院内で実施する検体検査で検査科受付後60分以内の報告、および生理検査で当日報告の可能な緊急対応可能検査項目数とその割合（緊急対応可能検査項目数÷全体検査項目数×100）
緊急検査のTAT（ターンアラウンドタイム）	0:30:40 分秒	0:31:39 分秒	0:30:40 分秒	病院で実施する生化学検査における、緊急検査依頼の検査科受付から報告確定までの平均時間
CT、MRI、血管造影マンモグラフィの検査人数	CT 7,628 人 MRI 4,754 人 血管造影 776 人 マンモ 560 人	CT 7,795 人 MRI 5,032 人 血管造影 890 人 マンモ 1,132 人	CT 7,901 人 MRI 4,451 人 血管造影 997 人 マンモ 1,030 人	CT、MRI、血管造影、マンモグラフィの検査患者数
放射線及び検査に関する指標 ・冠動脈CTの件数 ・大腸CTの件数 ・心臓MRI ・乳房MRI	冠動脈CT 19 件 大腸CT 5 件 心臓MRI 1 件 乳房MRI 27 件	冠動脈CT 32 件 大腸CT 2 件 心臓MRI 3 件 乳房MRI 50 件	冠動脈CT 44 件 大腸CT 3 件 心臓MRI 1 件 乳房MRI 59 件	年間の冠動脈CT、大腸CT、心臓MRI、乳房MRIの検査患者数
放射線及び検査に関する指標 ・CT、MRI検査の予約外当日検査の件数	- 件 件	予約外当日検査件数 CT 4,526 件 MRI 1,089 件	予約外当日検査件数 CT 4,200 件 MRI 1,186 件	年間のCTとMRIの予約外受入れ検査患者数
臨床検査に係る精度管理調査評価評点	日本医師会 99.0 点 日臨技 99.1 %	日本医師会 97.8 点 日臨技 100 %	日本医師会 97.8 点 日臨技 99.6 %	外部精度管理における日本医師会臨床検査精度管理調査の結果（評価項目修正点数）、日本臨床検査技師会精度管理調査の結果（AB評価%）
放射線科医師による読影レポート数	20,419 件	22,934 件	21,191 件	放射線科医師によって作成された、CT、MRI等検査にかかる読影レポート数
ME機器点検実施件数	10,535 件	11,122 件	11,509 件	ME機器（医療機器）の日常点検、定期点検の件数（臨床工学技士実施分）
6 薬剤に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
服薬指導件数（入院・外来）	入院 18,236 件 外来 5,534 件	入院 18,352 件 外来 6,906 件	入院 15,890 件 外来 7,374 件	（入院）入院服薬指導業務指導件数 （外来）外来服薬指導業務指導件数
ジェネリック使用率	86.4 %	88.0 %	88.6 %	「後発医薬品の数量」／（「後発医薬品のある先発医薬品の数量」＋「後発医薬品の数量」） ※数量とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。
薬剤師による抗がん剤等のミキシング数（処方箋枚数）	うち入院 679 件 うち外来 230 件	うち入院 483 件 うち外来 258 件	うち入院 392 件 うち外来 335 件	抗がん剤ミキシング件数

クリニカルインディケータ―【臨床指標】

7 栄養に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
栄養食事指導件数 (個別・集団)	個別 2,090 件 集団 74 回 200 人	個別 2,148 件 集団 100 回 324 人	個別 2,140 件 集団 56 回 172 人	個別栄養食事指導件数、集団栄養食事指導回数及び人数
入退院支援件数	- 件	- 件	入院前支援 253 件 退院支援等カンファレンス参加件数 902 件	・入院前に栄養評価、食物アレルギーの詳細聞き取り等を行い、入院一食目から適切な栄養管理や食事提供に結びつけた件数 ・入院後、退院支援に繋がる病棟カンファレンスや退院前カンファレンスに参加した件数
栄養サポートチーム (NST) 活動件数	回診回数 98 回 延べ人数 768 人	回診回数 100 回 延べ人数 856 人	回診回数 103 回 延べ人数 870 人	栄養サポートチーム (NST) 回診回数・回診延べ人数
栄養情報提供書発行件数	- 件	61 件	31 件	栄養情報提供書を発行した件数(栄養サポートチームが対応した患者について、転院先の医療機関や入所先の高齢者福祉施設等に発行した栄養治療計画書の件数も含む)
8 リハビリテーションに関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
リハビリテーション実施患者の在宅復帰率	- %	- %	70.0 %	在宅復帰件数/全リハビリテーション実施患者数
入院日からリハビリテーション処方日までの日数	6.4 日	5.8 日	当日～2日目 59% 3日～5日 15% 6日以降 26%	入院日-リハビリテーション処方日 「当日～2日目」、「3日～5日」 「それ以降」の各割合を算出
リハビリテーション依頼の科別割合	リハビリ科： 9% 整形外科： 32% 脳外科： 15% 内科(神経・呼吸・循環・内分泌)： 25% 腎臓内科： 14% 外科： 4% その他： 1%	リハビリ科： 9% 整形外科： 35% 脳外科： 15% 内科(神経・呼吸・循環・内分泌)： 22% 腎臓内科： 14% 外科： 4% その他： 1%	リハビリ科： 10% 整形外科： 29% 脳外科： 25% 内科(神経・呼吸・循環・内分泌)： 17% 腎臓内科： 14% 外科： 3% その他： 2%	依頼科件数/全依頼件数 を各科ごとに算出
9 看護に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
褥瘡発生率	0.79 %	0.84 %	0.65 %	[院内褥瘡発生数 / (当月の新入院患者数 + 前月終日日在患者数)] × 100
患者・家族のケア満足度	85.2 %	85.5 %	82.3 %	患者満足度調査における入院・外来(平均)のケア満足度

クリニカルインディケーター【臨床指標】

10 医療安全に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
転倒・転落率	0.21 %	0.22 %	0.20 %	インシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数÷期間中の入院述べ患者数×100
医療安全研修 情報セキュリティ研修	医療安全 17 回 情報セキュリティ 2 回	医療安全 15 回 情報セキュリティ 2 回	医療安全 19 回 情報セキュリティ 2 回	年度内の開催実績数
11 地域連携に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
紹介・逆紹介患者率	紹介率 57.2 % 逆紹介率 84.7 %	紹介率 58.2 % 逆紹介率 76.3 %	紹介率 56.7 % 逆紹介率 80.4 %	地域医療支援病院要件に準拠
地域連携バス実施数	10 人 1 回	8 人 1 回	12 人 1 回	地域連携バスごとの使用患者数
医療従事者等研修会開催数、 広報誌発行部数	研修会 38 回 広報誌 20,550 部	研修会 49 回 広報誌 20,700 部	研修会 45 回 広報誌 20,700 部	医療従事者を対象とした研修会等の開催件数、 広報誌（病院だより、医師プロフィール）発行部数
連携医数、高額医療機器の 共同利用件数	791 人 2,347 件	789 人 2,197 件	810 人 1,671 件	連携医数、主な高額医療機器（MRI、CT、RI） の共同利用件数
12 医療サービスに関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
患者満足度	入院 84.9 % 外来 72.7 %	入院 88.5 % 外来 70.2 %	入院 85.1 % 外来 72.1 %	「あなたは全体としてこの病院に満足していますか。」という問いに対し「満足」「ほぼ満足」と回答した割合（入院・外来）
13 医師・看護師・コメディカルの資格等に関する指標				
指標項目	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	定義、指標計算方法等
資格認定医師、専門医師数	/	/	別紙1のとおり	調査時点の人数（常勤職員+月16日以上勤務非常勤）
認定看護師数				調査時点の人数（常勤職員）
コメディカル部門の認定者・ 専門者数（放射線、検査、薬 剤、栄養）				調査時点の人数（常勤職員）

医師部門の専門者数一覧	
資格名	人数
整形外科専門医	4
麻酔科専門医	1
放射線専門医	1
眼科専門医	2
産婦人科専門医	2
耳鼻咽喉科専門医	1
泌尿器科専門医	2
病理専門医	1
総合内科専門医	9
外科専門医	7
糖尿病専門医	2
肝臓専門医	2
循環器専門医	3
呼吸器専門医	1
消化器病専門医	3
腎臓専門医	7
内分泌専門医	2
消化器外科専門医	3
透析専門医	8
脳神経外科専門医	3
リハビリ科専門医	2
心臓血管外科専門医	1
消化器内視鏡学会専門医	7
神経内科専門医	2
乳腺専門医	1
アレルギー専門医	1
大腸肛門病専門医	1
口腔外科専門医	1

看護部門の認定者・専門者数一覧		
資格名		人数
認定看護管理者		1
特定行為看護師		1
認定看護師		11
専門看護師		-
栄養サポートチーム(NST)専門療法士		5
日本糖尿病療養指導士		1
透析技術認定士		6
リンパドレナージ初級		-
リンパドレナージ中級		-
リンパドレナージ上級		-
ACLSインストラクターコース		1
BLSインストラクターコース		2
呼吸療法認定士		4
第1種内視鏡技師		4
コメディカル部門の認定者・専門者数一覧		
所属	資格名	人数
薬剤科	糖尿病療養指導士	3
	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	6
	がん薬物療法認定薬剤師	2
	外来がん治療認定薬剤師	1
	抗菌化学療法認定薬剤師	2
	感染制御認定薬剤師	-
	緩和薬物療法認定薬剤師	1
	漢方薬・生薬認定薬剤師	-
	精神科薬物療法認定薬剤師	-
	小児薬物療法認定薬剤師	-
	認定CRC	-
	認定実務実習指導薬剤師	5
	診療放射線科	第1種放射線取扱主任者
第2種放射線取扱主任者		2
核医学専門技師		-
放射線治療専門放射線技師		-
医学物理士		-
放射線治療品質管理士		-
磁気共鳴専門技術者		3
X線CT認定技師		5
救急撮影認定技師		4
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師		4
胃がん検診専門技師		-
肺がんCT検診認定技師		-
血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師		1
放射線管理士		5
放射線機器管理士		2
医用画像情報精度管理士		-
臨床実習指導教員		2

コメディカル部門の認定者・専門者数一覧		
所属	資格名	人数
検査科 臨床検査技師	細胞検査士	3
	国際細胞検査士	3
	認定輸血検査技師	1
	認定臨床微生物検査技師	1
	感染制御認定臨床微生物検査技師	1
	認定臨床化学者	-
	緊急臨床検査士	2
	日本救急検査技師	-
	超音波検査士 (消化器領域、循環器領域、泌尿器領域、体表臓器領域、産婦人科領域、血管領域)	消3 循3 泌0 体3 婦0 血0
	血管診療技師	3
	認定心電検査技師	2
	睡眠医療認定検査技師士	-
	聴力検査士	-
	糖尿病療養指導士	-
	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	-
	電子顕微鏡技術認定士	-
	POCTコーディネータ	-
医療情報技師	-	
医療環境管理士	-	
未病指導士	-	
2級臨床検査士	4	
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任	1	
検査科 臨床工学技士	透析技術認定士	6
	体外循環技術認定士	-
	3学会合同呼吸療法認定士	4
	高気圧酸素治療技師	-
	ペースメーカー関連専門臨床工学技士	-
	消化器内視鏡技師	-
第2種ME技術者	10	
栄養科	日本糖尿病療養指導士	2
	病態栄養認定管理栄養士	3
	栄養サポートチーム(NST)専門療法士	4
	NSTコーディネーター	-
がん病態栄養専門管理栄養士	1	

1 疾病別患者数

単位：人

ICD10分類（大分類）		平成28年度	平成29年度	平成30年度
全体		6,921	6,917	6,690
A00-B99	感染症および寄生虫症	161	140	123
C00-D48	新生物	947	804	699
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	47	45	47
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	207	219	231
F00-F99	精神および行動の障害	784	756	747
G00-G99	神経系の疾患	182	142	160
H00-H59	眼および付属器の疾患	638	699	572
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	49	30	31
I00-I99	循環器系の疾患	1,034	1,004	1,113
J00-J99	呼吸器系の疾患	422	439	318
K00-K93	消化器系の疾患	674	638	629
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	34	35	27
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	237	303	303
N00-N99	尿路性器系の疾患	717	843	969
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	-	-	-
P00-P96	周産期に発生した病態	-	-	-
Q00-Q99	先天奇形,変形および染色体異常	12	11	10
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	114	71	114
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	585	670	503
V00-Y98	傷病および死亡の外因	-	-	-
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	77	68	94

2 疾患別平均在院日数

単位：日

ICD10分類（大分類）		平成28年度	平成29年度	平成30年度
全体		12	13	12
A00-B99	感染症および寄生虫症	16	17	19
C00-D48	新生物	12	14	13
D50-D89	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	22	13	23
E00-E90	内分泌,栄養および代謝疾患	18	18	14
F00-F99	精神および行動の障害	2	1	2
G00-G99	神経系の疾患	21	26	23
H00-H59	眼および付属器の疾患	2	2	2
H60-H95	耳および乳様突起の疾患	5	8	6
I00-I99	循環器系の疾患	16	16	14
J00-J99	呼吸器系の疾患	20	20	24
K00-K93	消化器系の疾患	11	13	13
L00-L99	皮膚および皮下組織の疾患	17	31	17
M00-M99	筋骨格系および結合組織の疾患	25	27	25
N00-N99	尿路性器系の疾患	10	9	9
O00-O99	妊娠,分娩および産じょく<褥>	-	-	-
P00-P96	周産期に発生した病態	-	-	-
Q00-Q99	先天奇形,変形および染色体異常	28	19	11
R00-R99	症状,徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	13	16	16
S00-T98	損傷,中毒およびその他の外因の影響	18	17	18
V00-Y98	傷病および死亡の外因	-	-	-
Z00-Z99	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	10	8	8

手術件数及び診療科別内訳（手術室）平成28年～平成30年実績

区分	平成28年	平成29年	平成30年
合計	2,516	2,677	2,479
外科	319	322	293
血管外科	335	271	253
脳神経外科	26	20	28
婦人科	357	421	406
整形外科	394	452	367
泌尿器科	145	134	130
移植外科	30	20	28
眼科	753	846	798
耳鼻咽喉科	75	94	81
歯科口腔外科	45	52	65
腎臓内科	20	14	12
麻酔科	2	2	0
形成外科	14	25	18
内科	1	4	0

院内がん登録統計

●院内がん登録とは

「がん登録」とは、がんの罹患や転帰その他の状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がん罹患数・罹患率、がん生存率、治療効果の把握など、がん対策の基本となるデータの把握のために必要なものです。この調査を複数の病院が同じ方法で行うことで、その情報を比べることができるようになり、病院ごとの特徴や問題点が明らかになるものと期待されています。

●登録対象

登録対象は新規の診断症例または他院で診断された初診症例であり、入院患者および外来患者を対象としています。1腫瘍・1登録の原則に基づき同一患者に別のがん腫と判断されるがんが生じた場合には腫瘍毎の登録（複数登録）となります。

●実績(平成30年実績)

1 全登録数及び東京都がん診療連携協力病院における部位別件数(再掲)【単位：件】

区分	件数
全登録数	222
肺がん	14
胃がん	19
(再掲) 大腸がん	49
肝がん	5
乳がん	58
前立腺がん	24

2 東京都がん診療連携協力病院における6部位の治療前UICCステージ割合及び件数【単位：件、%】

区分	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
肺がん	0	0	0	2	11	1	14
	0%	0%	0%	14%	79%	7%	
胃がん	0	6	0	3	4	6	19
	0%	32%	0%	16%	21%	32%	
大腸がん	0	13	8	0	4	24	49
	0%	27%	16%	0%	8%	49%	
肝がん	0	3	0	0	0	2	5
	0%	60%	0%	0%	0%	40%	
乳がん	3	26	5	1	0	23	58
	5%	45%	9%	2%	0%	40%	
前立腺がん	0	15	1	3	5	0	24
	0%	63%	4%	13%	21%	0%	

上段：件数（件）、下段：割合（%）

3 東京都がん診療連携協力病院における6部位の治療別割合別治療方法割合及び件数【単位：件、％】

区分	手術のみ	内視鏡のみ	手術+内視鏡	放射線治療のみ	薬物療法のみ	放射線+薬物	薬物+その他	手術/内視鏡+放射線	手術/内視鏡+薬物	手術/内視鏡+その他	手術/内視鏡+放射線+薬物	他の組み合わせ	※初回治療なし	計
肺がん	0	0	0	1	7	1	8	0	0	0	0	0	5	22
	0%	0%	0%	5%	32%	5%	36%	0%	0%	0%	0%	0%	23%	
胃がん	4	5	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	2	19
	21%	26%	0%	5%	11%	5%	21%	0%	0%	0%	0%	0%	11%	
大腸がん	16	8	0	1	1	0	10	0	0	0	0	0	5	41
	39%	20%	0%	2%	2%	0%	24%	0%	0%	0%	0%	0%	12%	
肝がん	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	
乳がん	3	0	0	13	0	3	10	0	0	0	0	16	15	60
	5%	0%	0%	22%	0%	5%	17%	0%	0%	0%	0%	27%	25%	
前立腺がん	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	15	17
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	6%	0%	0%	0%	0%	6%	88%	

上段：件数（件）、下段：割合（％）

※ 初回治療とは、治療開始時点で計画された一連の治療のことであり、以下のような場合、「初回治療なし」でカウントする。

- ・当初経過観察が計画されて、病状が悪化したために治療が行われた場合
- ・他施設において、初回治療が計画され、他施設において治療開始後にその一部を当院で施行する場合
- ・腫瘍に影響のない鎮痛剤や制吐剤などの治療
- ・診断後4か月以上経過して、初回治療が開始された場合
- ・初回治療として計画されていても、他院で施行したもの